

高度データ放送広告 AD-JIGSAW™ 開発プロジェクト

AD-JIGSAW™ Advanced Data-Broadcasting Advertising Project

野村 茂生

NOMURA Shigeo

BS(放送衛星)デジタル放送商用サービス開始後、高度広告挿入システムに注目が集まっている。このシステムは、データ放送の新しい機能を使用した高度のマーケティング機能を提供できる。

当社では、(株)電通と共同で、データ放送部分の地区別情報差替え型広告の制作・供給を実用化し、7けた郵便番号に対応する全国の市町村ブロック単位で、地区別の広告情報提供サービスを実施する方法を提供した。エリアごとにジグソーパズルのように広告素材の差替えを行うことで、“マスメディアでエリア別のコミュニケーション”を実現した。

With the commencement of broadcast satellite (BS) digital broadcasting services, the advancement of TV ad insertion has come to the fore as a new advertising marketing style. This has been developed from the conventional TV footage method to a new marketing form that combines images with data broadcasting.

AD-JIGSAW™, which has been developed by Toshiba and Dentsu Inc., provides regional insertion capability for data ads and information. This is a new marketing tool that accommodates the 7-digit postal codes for ad insertion by districts. AD-JIGSAW™ realizes geographical communication of mass media by substituting ad materials in each area in a manner similar to a jigsaw puzzle.

1 まえがき

BS デジタル放送が開始され1年が経過し、デジタル放送の本格化による企業の広告・販促などのマーケティング活動に対するニーズは高まり、大きな期待が寄せられている。

BS デジタル放送では高度なデジタル化技術により、従来は不可能であった双方向機能をはじめとする、新たなサービスが可能となった。しかし、そのポテンシャルを十分に生かした企業の広告や販促活動に結びつく仕掛け・仕組みの提供については、まだ緒についたばかりであることは否めない。

当社では、(株)電通と共同プロジェクトを発足し、BS デジタル放送の機能を最大限活用し、企業のマーケティング活動を強力にサポートする新しい広告手法である、地区別データ放送運用システム“AD-JIGSAW™^(注1)”を開発した。

2 デジタル放送時代のマーケティングへの着手

BS デジタル放送の開始を背景に、企業から広告会社及び放送局に対して、データ放送・双方向通信機能のマーケティング活用など、テレビ広告活動の高度化が要望されている。

この要望に応えるため、当社は地区別データ放送運用システム AD-JIGSAW™ を(株)電通と共同開発した。BS デジタル放送のデータ放送広告で細分化した地区ごとのテレビ

(注1) AD-JIGSAW は(株)電通の登録商標。

画面の広告情報を差し替え、マスメディアでエリア別のコミュニケーションを実現した。

これに加え AD-JIGSAW™ では、地区別に差し替える広告情報を全国の拠点から入力する仕組みを提供している。具体的には、広告主が展開する全国各地の販売店から、インターネットを経由して東芝新宿データセンタで運用している AD-JIGSAW™ にアクセスし、各販売店自身が自店の商圈エリアに提供する広告情報を入力することができる。また、データ放送広告から発生した視聴者の応答情報は東芝新宿データセンタで集計され、その結果はインターネットを経由して広告主・販売店にフィードバックされる。

これにより、広告主、全国販売店、顧客応答を相互に結び付け、“マスメディアを使いながら同時にエリアマーケティング活動を可能とする新たなサービス”が誕生した。AD-JIGSAW™ は、トヨタ自動車(株)提供“恋のから騒ぎ”(BS日テレ)番組枠で2001年9月13日から運用を開始した(現在は休止)。特長を以下に示す。

- (1) BS デジタル放送活用による全国エリアへの到達コスト削減と同時に、個別エリアへのカスタマイズアプローチを両立して実現
- (2) 顧客・各販売エリアの広告応答状況に応じた綿密なエリアマーケティング環境を構築
- (3) 放送メディアでありながら、週末キャンペーンの状況に応じた機動性の高い広告制作と配信の仕組みを提供

3 地区別データ放送運用システム AD-JIGSAW™

3.1 概要

AD-JIGSAW™は、BSデジタル放送で理論上は可能とされていた、データ放送部分の詳細な地区別配信広告の制作・供給を実現したものである。その本質は、放送史上初の“可変する”広告である。

BSデジタル放送の双方向サービスでは、7けたの郵便番号をはじめとする住所・氏名などの情報をあらかじめ登録する仕組みが組み込まれている。データ放送では、これらの情報を受信機、若しくはBSデジタル放送サーバシステムから取得して扱うことができる。

AD-JIGSAW™は本編映像部分は全国统一でありながら、データ放送部分では7けたの郵便番号に合致させたエリアごとに、文字情報などを差し替えた配信を可能とし、広告制作過程から送稿、応答データの広告主通知までを一貫してサポートするサービスを提供するものである(図1)。その一連の流れは、以下のとおりである。

- (1) 全国の販売店で直接広告情報を入力
- (2) 地区別差替え情報を生成
- (3) 地区別差替え情報とデータ放送コンテンツを合体

- (4) データ放送コンテンツを放送局へ電子送稿
- (5) 視聴者の広告に対する応答をBSデジタル放送サーバシステムに収集
- (6) 視聴者応答がBSデジタル放送サーバシステムから転送され広告主及び販売店に配信

3.2 “可変する”コンテンツ

販売店からAD-JIGSAW™に入力された独自のキャンペーン情報を、受信機に登録されている郵便番号を基に内容を可変させて表示する(図2)。

事前に全国販売店の各商圏は郵便番号と関連付けされており、販売店から入力されたキャンペーン情報と一体化されたデータとして自店の商圏に放送される。

この放送を視聴者が受信した段階で、データ放送コンテンツの“BML(Broadcast Markup Language)に記述されたロジック”が“受信機に登録された郵便番号”と“販売店キャンペーン情報・郵便番号を関連付けた情報”を参照し、視聴者の居住地域の商圏を持つ販売店から入力された情報が表示される。

データ放送広告には、プレゼント応募やカタログ請求など、視聴者応答を収集する双方向サービスが組み込まれている。データ送信の段階で個人情報提供についての許諾を確

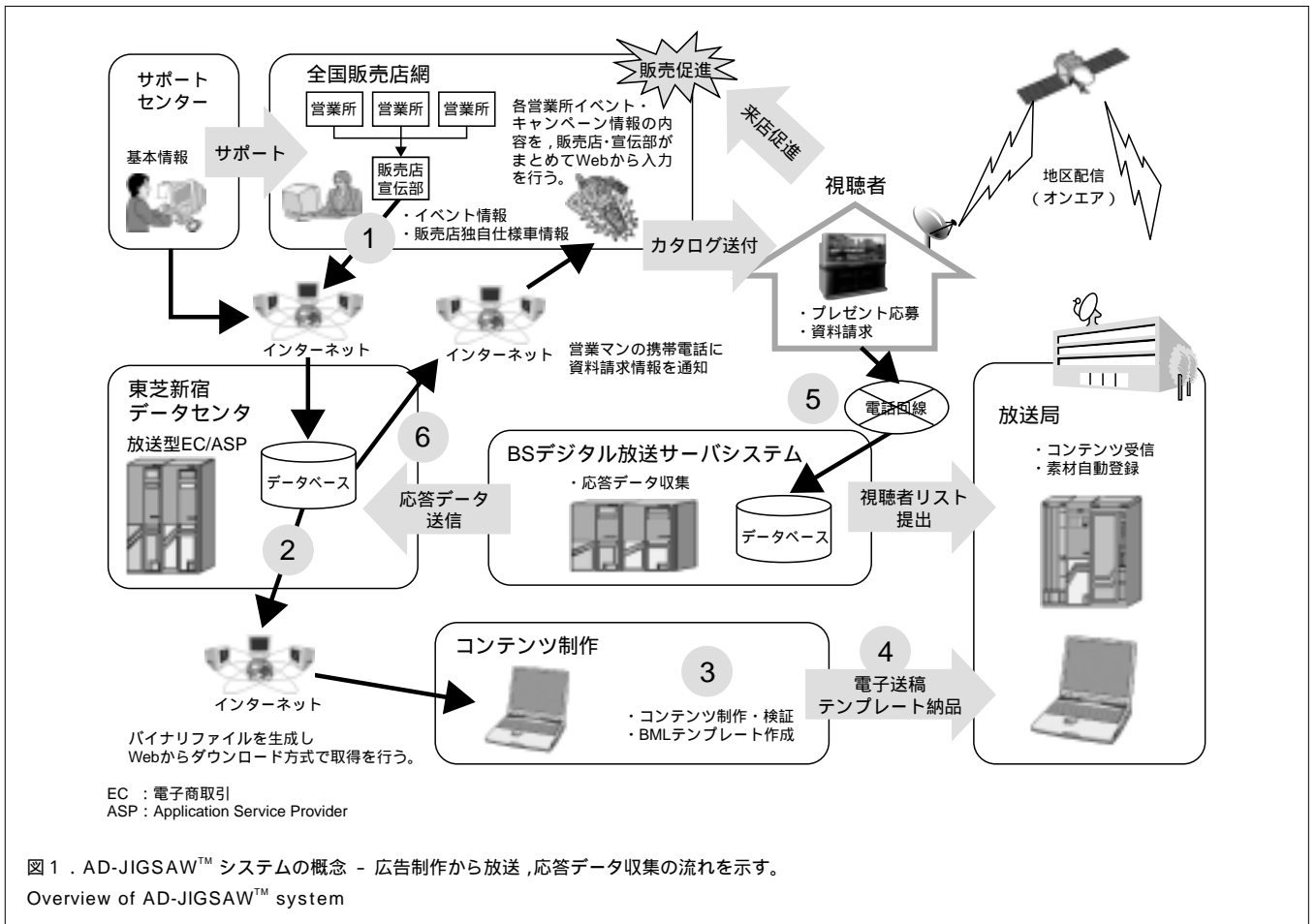


図1. AD-JIGSAW™ システムの概念 - 広告制作から放送、応答データ収集の流れを示す。
Overview of AD-JIGSAW™ system

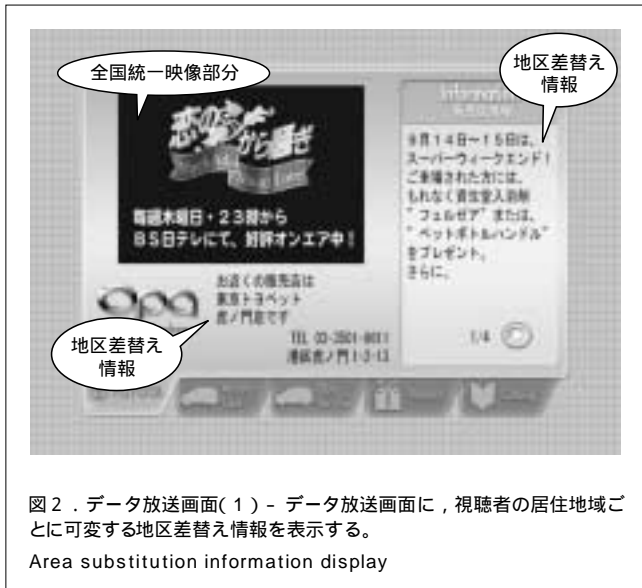


図2．データ放送画面(1) - データ放送画面に、視聴者の居住地域ごとに可変する地区差替え情報を表示する。

Area substitution information display

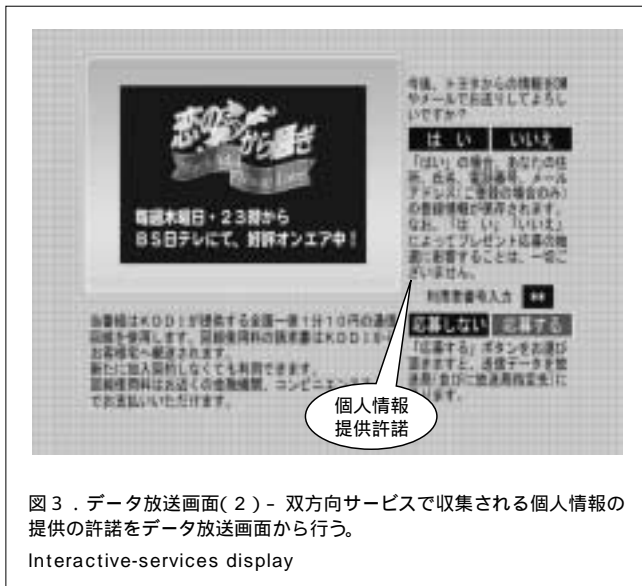


図3．データ放送画面(2) - 双方向サービスで収集される個人情報の提供の許諾をデータ放送画面から行う。

Interactive-services display

認することにより、収集した応答がマーケティング活動で活用可能となる(図3)。

3.3 データ放送広告制作から送稿

販売店からのキャンペーン情報入力機能はWebシステムで構築され、各販売店にログインID(Identification)及びパスワードが発行される。各販売店はインターネット接続環境だけ用意すればシステムを利用することができる。

Webシステムには、全国の販売店名とその商圏を郵便番号で詳細に地区割りした情報などの基本情報が用意されている。販売店からは、放送日やキャンペーン情報をプルダウン形式で選択することにより情報を入力する。

販売店からのキャンペーン情報の入力状況はサポートセンターで確認することができ、全販売店の入力が完了した段階で、バイナリテーブル(Binary Table)というBMLで参照

可能な表形式データを生成する。

地区差替え情報バイナリテーブルは、コンテンツ制作過程でWebシステムからダウンロードされ、テンプレート化されているBMLやその他の素材とともに、オーサリングの工程を経てデータ放送コンテンツとして完成する。

完成したデータ放送コンテンツは、検証センターで動作検証を行った後に、電子送稿システムにより局納品に必要なドキュメントとともに放送局へネットワーク利用して送稿される。

3.4 応答データ収集と広告主への通知

データ放送広告に反応した視聴者の応答は、放送局のBSデジタル放送サーバシステムへ格納され、オンエア後の深夜に東芝新宿データセンタに自動転送される。

東芝新宿データセンタでは、視聴者応答を各販売店向けに加工し、販売店とその営業マンの携帯電話にEメール経由で配信する。オンエア翌日には、最新の顧客情報として活用が可能となる。

広告主は、AD-JIGSAW™により販売店から入力されたキャンペーン情報に対する応答をスピーディに入手でき、広告効果を定量的に把握することが可能となる。

AD-JIGSAW™は、広告主からの広告の配信と応答データの収集のサイクルを一貫して提供する。このサービスを利用する広告主は、“デジタルメディアと販売店の連携”、及び“BSデジタル放送をマスメディアとして活用”をメリットとして享受でき、広告効果の定量的な把握が可能となる。

4 解決された課題

AD-JIGSAW™で制作されるデータ放送広告は、地区差替え情報による可変するコンテンツである。このコンテンツを実運用で放送するには、いくつかの課題を解決する必要があった。

その一つは、放送局の考査である。放送事業においては、その公共性から、放送するコンテンツに不適切な内容が含まれていないか放送前に確認する、考査というプロセスがある。従来この考査は、オンエア用に最終納品された広告映像に対してのみ行っており、15秒の広告は15秒の映像を確認することにより考査が完了していた。

AD-JIGSAW™にて制作されるデータ放送広告は、地区差替えバイナリテーブルによる可変するコンテンツであるため、従来の方法で考査を行うには販売店情報とその他の情報との膨大な組合せを確認せねばならず、放送局の大きな負荷が課題となった。

二つ目は、BSデジタル放送では、データ放送コンテンツの不具合による放送事故を防止するため、放送前の徹底的なコンテンツの動作検証を行っていた。このために、放送局へのコンテンツ納品はオンエアの数週間前が一般的であり、店

舗から入力された最新キャンペーン情報を短期間に放送波で配信したい広告主の要求に応えるうえでの大きな壁となった。

これらの課題を事前分割考査の考査と、データ放送広告コンテンツの構造化、及びその構成要素の部品化により解決した。

AD-JIGSAW™にて制作されるデータ放送広告は、プルダウン形式で入力される地区差替えバイナリテーブル、テンプレートBMLなどの部品化されたコンポーネントにより構成される。

地区差替え情報は、各販売店共通のキャンペーン情報の基礎となる広告コピーに対して、販売店独自となる情報をプルダウン形式で表示された候補から選択入力する手法となっている(図4)。

そこで、考査においては、共通素材部分と各販売店で異なるプルダウン形式の選択肢を分割してそれぞれ確認することにより、膨大な組合せのすべてを確認することなく考査を完了する運用ルーチンを、放送局の協力により新たに構築した。



図4．地区差替え情報入力画面 - 店舗独自情報のプルダウン形式により入力する。

Area substitution information input display

また、短いサイクルできめ細かく実施される最新の店頭キャンペーンなどの情報を反映させるコンテンツの更新と、データ放送コンテンツの品質を両立させるために、コンテンツの構造化と部品化を徹底的に追求した。コンテンツの構成要素のうち、キャンペーン企画が変更されることにより更新される地区差替えバイナリテーブルと、再利用されるBMLテンプレートなどの最適な部品化を行い、検証作業の負荷が大きい要因となる地区差替えバイナリテーブルの生成をシステム化することにより、納品時の検証作業を更新部分に特化して実施できるよう効率化した。

これらの解決策は、“考査プロセスの効率化を推進する分割考査システム”、“デジタル広告コンテンツの部品化による品質管理システム”として、(株)電通と共同でビジネスモデル特許を出願した。

5 あとがき

AD-JIGSAW™開発プロジェクトは、広告、放送、デジタルメディアシステムの各分野で得意技を持つNo.1企業が参画し、放送史上初のモデルが実現した。AD-JIGSAW™により、デジタル放送時代のマーケティングにおいて先駆的な具体例を示すことができた。今後も、この分野における新たなサービス開発に積極的なアプローチを展開する。

謝辞

協業、及びこの論文への掲載にあたり多大なるご協力をいただいた(株)電通、トヨタ自動車(株)、日本テレビ放送網(株)、(株)ピーエス日本の関係各位に感謝の意を表します。



野村 茂生 NOMURA Shigeo

e-ソリューション社 メディアソリューション事業部 メディア・ソリューション事業開発部主務。デジタル放送をはじめとする、コンテンツ配信及び双方向サービス事業開発業務に従事。Media Solutions Div.